

令和5年度第1回学校評議員会・高校魅力化コンソーシアム 議事録

1 日 時 令和5年7月3日（月） 14:30～15:45

2 会 場 大会議室

3 参加者 学校評議員（3名）・魅力化協働パートナー（2名）

学校評議員A 欠席

学校評議員B 出席

学校評議員C 欠席

学校評議員D 出席

学校評議員E 出席

魅力化協働パートナーF 出席

魅力化協働パートナーG 出席

魅力化協働パートナーH 欠席

魅力化協働パートナーI 欠席

＊欠席者の学校概況資料等は、後日郵送する。

学校側参加者（13名）

校長・事務長

（全日制）副校長・総務主任・教務主任・生徒指導主事・進路指導主事

（定時制）副校長・教務主任・生徒指導主事

（通信制）副校長・教務主任・生徒指導主事

※上記の他、受付・記録係として、総務課員2名が同席。

4 次 第

（1）開会のことば

（2）学校長挨拶

- ・今年度より学校評議員会と高校魅力化コンソーシアムを兼ねて実施する。
- ・高校魅力化コンソーシアムについて（参考資料：浜田市教育魅力化コンソーシアム）
- ・高校魅力化コンソーシアムの目指す姿は、①高校生の生きる力の向上、②情報発信力の向上、③学校の魅力向上、④地域・企業とのつながり、⑤持続可能な仕組みづくり
- ・コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）が始まる。開かれた学校を実現したい。
- ・本校は今年で創立100周年となる。記念定期演奏会・式典等さまざまな記念事業を成功させるため、ご協力いただきたい。

（3）自己紹介

（4）学校概況説明 … 学校概況説明資料による

①全日制（副校長）

資料の通り

- ・総合的な探究の授業「宮高ゼミ」に力を入れ、課題を解決する力、考える力、表現する力等を身につけていく。
- ・今年度 STEAM 教育推進校として県から指定され、さまざまな活動を行っている。
- ・進路指導過去3年間、卒業生の半数以上が国公立大学に合格している。難関大である東北大学の合格者も増加し、毎年医学部にも現役合格するなど、高い進路実績がある。

- ・運動部では今年度ヨット部、空手道部、柔道部がインターハイに出場する。その他県上位多数。
- ・文化部では昨年度音楽部、書道部、自然科学部、放送部が県上位入賞や全国大会に出場している。
- ・ソフトボール部、放送部が募集停止となる。

②定時制（副校長）

資料の通り

- ・【訂正】出勤 12 : 45 授業 16 : 35 ~ 20 : 35（50分授） 職員退庁 21 : 15
- ・中学校からの学び直しも含めた、きめ細やかな授業を 50 分 4 コマで実施している。
- ・3年間で卒業が可能な定通併修制度を現在 1 名が利用している。
- ・様々な行事を通して交流を深めている。
- ・総合運動部（卓球）が全国大会に出場する。

③通信制（副校長）

資料の通り

- ・受講生は 75 名おり、北は久慈市から南は陸前高田市から通っている。
- ・令和 5 年度の前期入学者は 30 人であり、53.3%が他の高校からの転編入学者である。
- ・様々な行事を通して交流を深めている。
- ・卓球部・バトミントン部が全国大会に出場する。

（5）質疑応答

○魅力化協働パートナー F

高校を魅力化する目的は何か。

A. 生徒の資質能力を高めること、夢や希望を叶えること、宮古市の活力を高めること。（校長）

○魅力化協働パートナー F

当事者である生徒の要望はどのように吸い上げているのか。

A. 生徒総会等を活用しながら、生徒主体で学校行事等を作り上げるようにしている。

（全日生徒指導主事）

A. 総合的な探究の時間の中で、課題を発見する力を養っている。（校長）

○魅力化協働パートナー F

生徒の要望を吸い上げたとしても、生徒が「やらされている」という状態ではうまくいかないこともある。教員側がなぜその活動をしているのか、意味を伝える時間も必要である。

高校生は自分たちの考えをちゃんともっている。探究以外の場（学校運営に関することなど）でも、意見交流する場面を作してほしい。

○評議員 E

高校魅力化として浜田市の例を出した意図は何か。この通りにやりたいのか、宮古高校ならではのものを作成してほしい。

A. 県として枠組みができていない中で、皆様にイメージしていただくために例を出した。

宮古高校ならではのものを作成していく。（校長）

○魅力化協働パートナー G

宮古市のことを考えたときに、医療の充実が大事である。医療系の大学に進学している生徒も多いうるようだが、宮古に戻って来る人はどの程度いるのか。また、どのような指導をしているのか。

A. 実際に何人が戻ってきているかはわからないが、岩手医科大学「地域枠」では県内で働くこととなっている。進路指導としては、医学部生との懇談、近隣の医療現場への看護実習、医療に関わる仕事の説明会などを市の協力を得ながら行っている。（全日進路指導主事）

○評議員 B

魅力化というのは進路実績だけではなく、そこで何を学べるか、だと考える。普通科高校としてどんな学びができるかをもっと伝えていくべき。尖った魅力は何なのか。そこを考えないと数字の競争だけで終わってしまう。

定時制・通信制の就職先をみると、市内の優良企業に入っている。国公立大学に何人入るかも大事であるが、市内の企業に何人入るかも大事。三課程あることも魅力の一つである。定時制・通信制も魅力を発信していくべき。

A. 普通科・進学校の課題である。(全日副校長)

○評議員 D

宮古高校の芽を伸ばす機会に協力していきたい。

(6) 評議員から

○評議員 B

この春に60人の生徒が中学校を卒業して宮古市外の高校に進学している。「宮古でもできるのではないか」という雰囲気づくりをみんなですていく。

○評議員 E

魅力化に関しては宮古市全体で取り組まないといけない。

○評議員 D

今後も優秀な生徒の育成をお願いしたい。

○魅力化協働パートナー F

次回までに生徒の意見を取りまとめた資料がほしい。

○魅力化協働パートナー G

目的をもって頑張る生徒の後押しをお願いしたい。

震災学習列車というものを実施している。復興教育の一環として如何か。

日々の通学等で使用していただいて感謝する。